

平成16～19年度豊橋技術科学大学教育研究活性化経費評価書

外部評価者氏名

研究題目	鉄系自動車用鍛造部品の高強度化の為の制御鍛造技術の開発	
研究者	梅本 実	
項目	採点	評価(コメント)
研究の独創性	5	形状と同時に材質をつくり込む技術は、夢の技術であり、鍛造分野で加工とメタラジーを融合させた技術の実現は独創的である。
実用化への可能性	5	材質強化の機構を総合的に使おうとしており実用化の可能性は極めて高い。
学問的発展への貢献度	5	本研究に関連したテーマでNEDOのプロジェクトに採択され、そのリーダーを務めるなど、この分野の発展に貢献している。
当初研究計画の達成度	4	当初の計画をほぼ達成しているとみることができる。学会等での成果発表も十分行っている。
高専達成連携度	4	連携はしているようであるが、さらに強い協力体制が望まれる。
総合		加工屋と材料屋の協力体制をとる意味でもこの種の研究は重要かつ必要であり、テーマ設定、実施内容、成果など総合的にみて高く評価できる。

※ 1 上記の5項目について、5点満点(0～5点)で採点を行い、それぞれの評価及び総合評価について簡単にコメントを記入願います。